



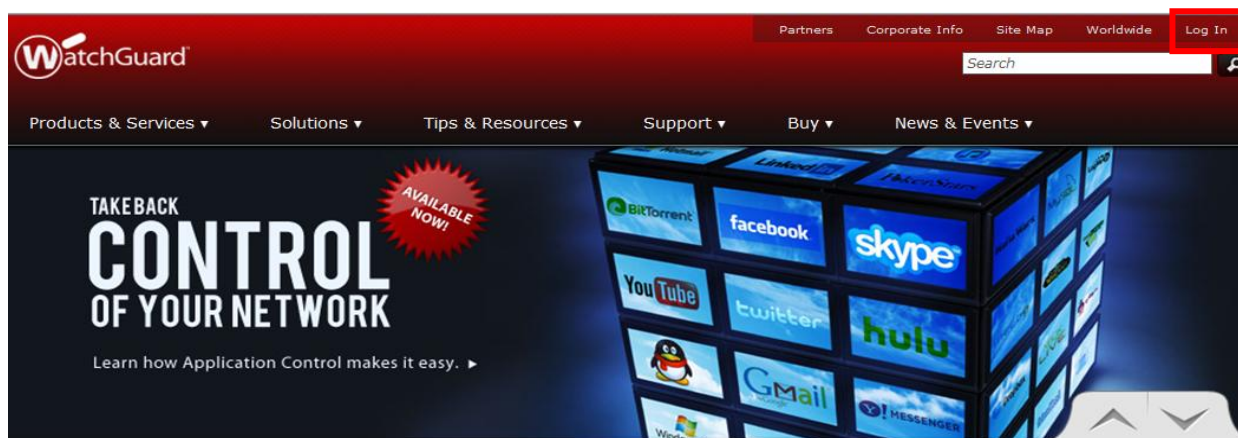
License Key の有効化

ユーザーマニュアル

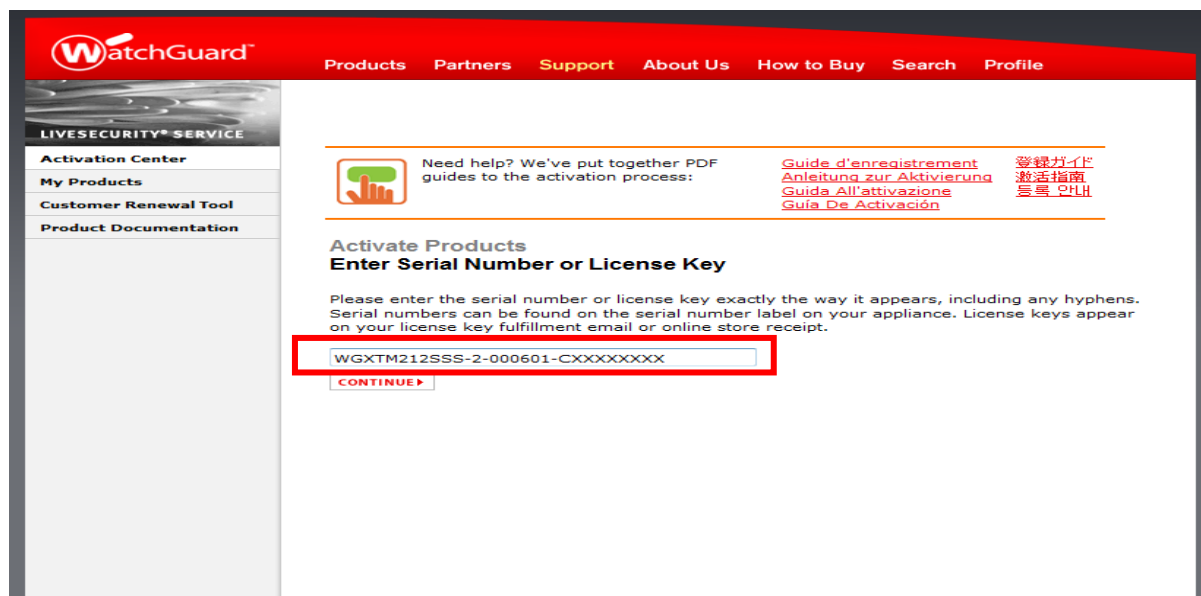
STEP1

1. LicenseKey のアクティベート

LiveSecurity Key を登録する URL <http://www.watchguard.com> へアクセスし、ブラウザ右上部 Log In より登録済みのユーザー名/パスワードでログインして下さい。 ※ 未登録の方はユーザー登録が必要です。



- ① ログイン後、Support Home から Activate a Product にアクセスして下さい。
- ② E-Mail で送られてきた Licence Key をコピーし、空欄に貼り付け「CONTINUE」をクリックし、次のステップへ



- ③ Licence Key を適用するアプライアンスをプルダウンより選択して下さい。
- ④ End-User License Agreement をご確認ください。
下記をご参照の上、チェックボックスにチェックを入れ「Activate(有効化する)」で次に進んで下さい。

【参考】

- ・ I have read and I accept the End-User License Agreement
(エンドユーザー使用許諾契約を読んだ上で同意します)
- ・ I decline the End-User License Agreement
(エンドユーザー使用許諾契約を拒否します)

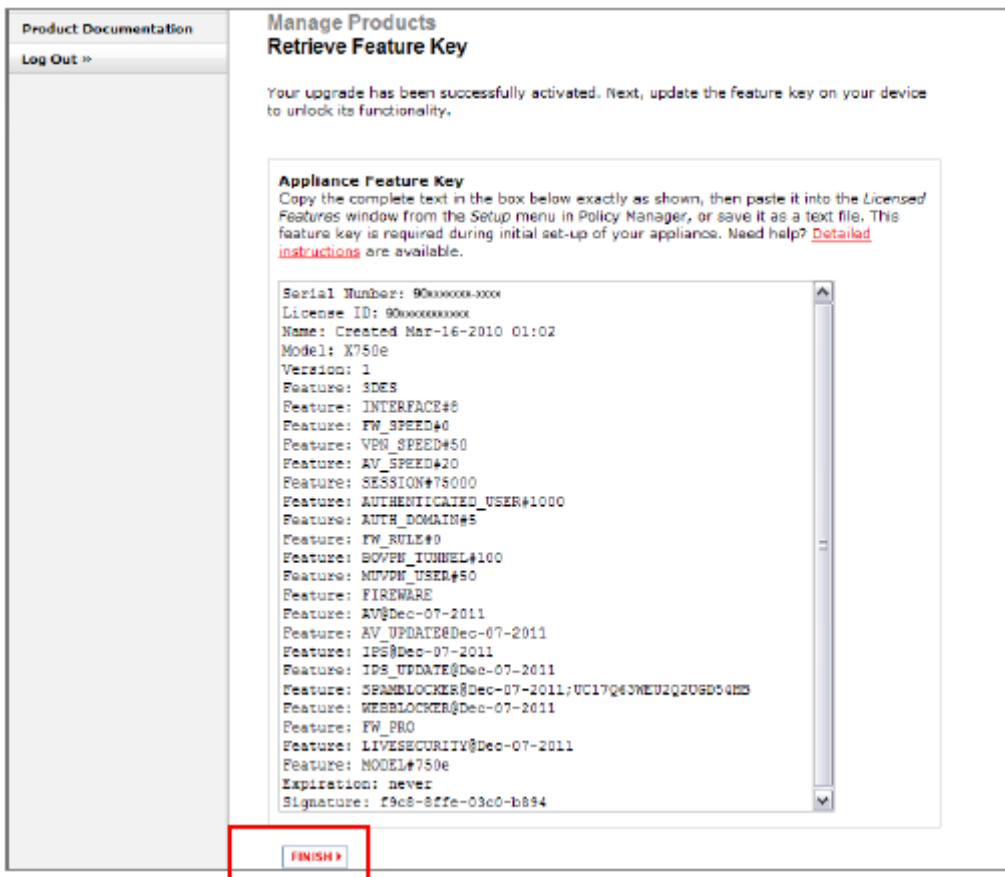
※拒否した場合、ライセンスの有効化はできません。

The screenshot displays the WatchGuard web interface for managing LiveSecurity products. The top navigation bar includes links for Products, Partners, Support, About Us, How to Buy, Search, and Profile. The main content area is titled 'Manage Products' and 'Choose Product to Upgrade'. A form shows the current product being activated as 'Firebox® X750e 1-Year LiveSecurity® Renewal'. A dropdown menu for selecting a product is set to 'FB X750c LG-FW'. Below this, a section for the 'LiveSecurity® Service' End-User License Agreement is shown, with the text 'IMPORTANT: READ CAREFULLY. THIS LIVESECURITY SERVICE SUBSCRIBER AGREEMENT/END-USER LICENSE AGREEMENT (THE...'. Two radio buttons are present: 'I have read and I accept the End-User License Agreement' (which is selected) and 'I decline the End-User License Agreement'. At the bottom of the form is an 'ACTIVATE' button.

2. Feature Key の取得

End-User License Agreement に同意の上、License Key が有効化されると Feature Key が表示されます。

- ① コピー＆ペーストで Key を取得してください。
※取得した Feature Key の使用方法については次のセクションを参照して下さい。
- ② 「FINISH」をクリックし、作業を完了します。



更に License Key の有効化を行う場合には Activate another license Key をクリックし、STEP 1に戻ります。

STEP2

1. WSM から Feature Key を適用する

WatchGuard System Manager (WSM)に接続し、 FeatureKey の適用作業を行って下さい。

※ 以下はバージョン 11.x におけるライセンス更新手順について記載しているものです。

① デバイスに接続する

WSMで接続するには、LAN側のネットワークからアクセスできる場所、もしくはPCとTrustedポートを直接接続しておきます。



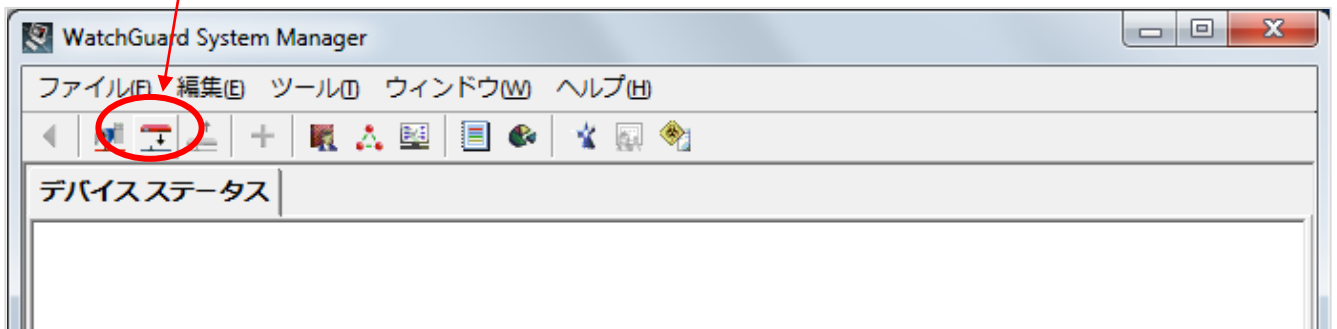
1番ポート: Trusted

初期セットアップ後でしたら、Trustedポートはデフォルトでは1番ポート、IPアドレスは10.0.1.1です。

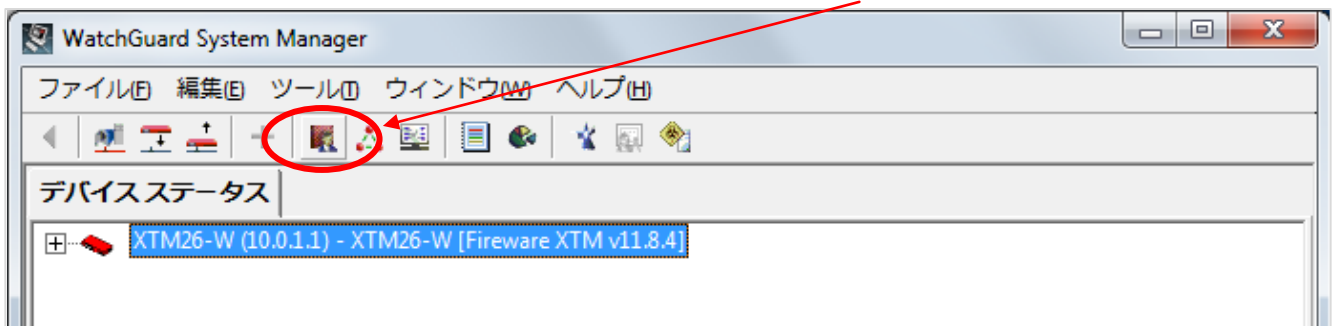
PCのIPアドレスは10.0.1.2など、同じセグメントのものに設定し、接続してください。

② WSMのメニュー「ファイル」>「デバイスに接続」をクリックします。

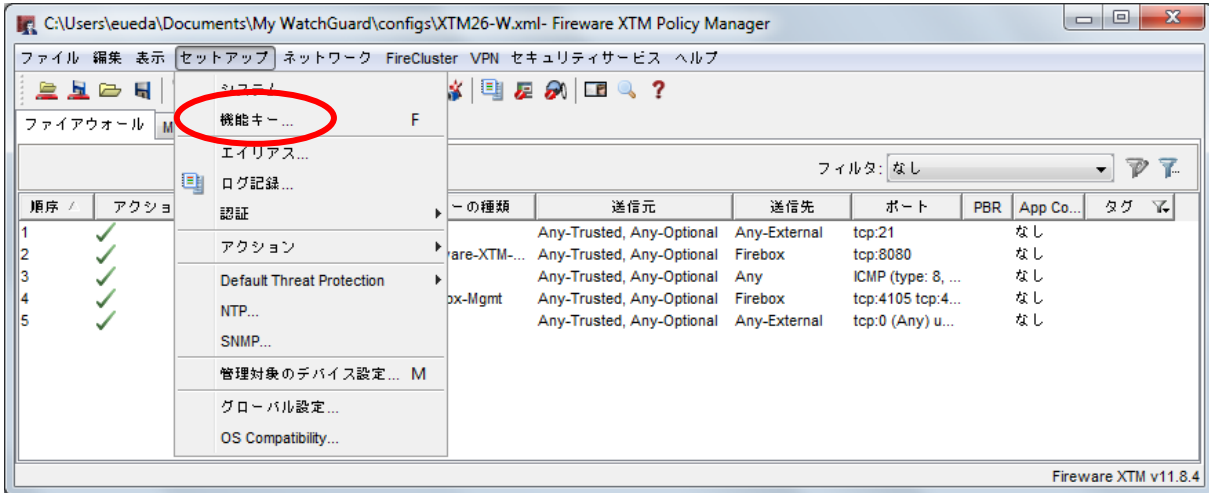
もしくは[こちら](#)のアイコンをクリックします。



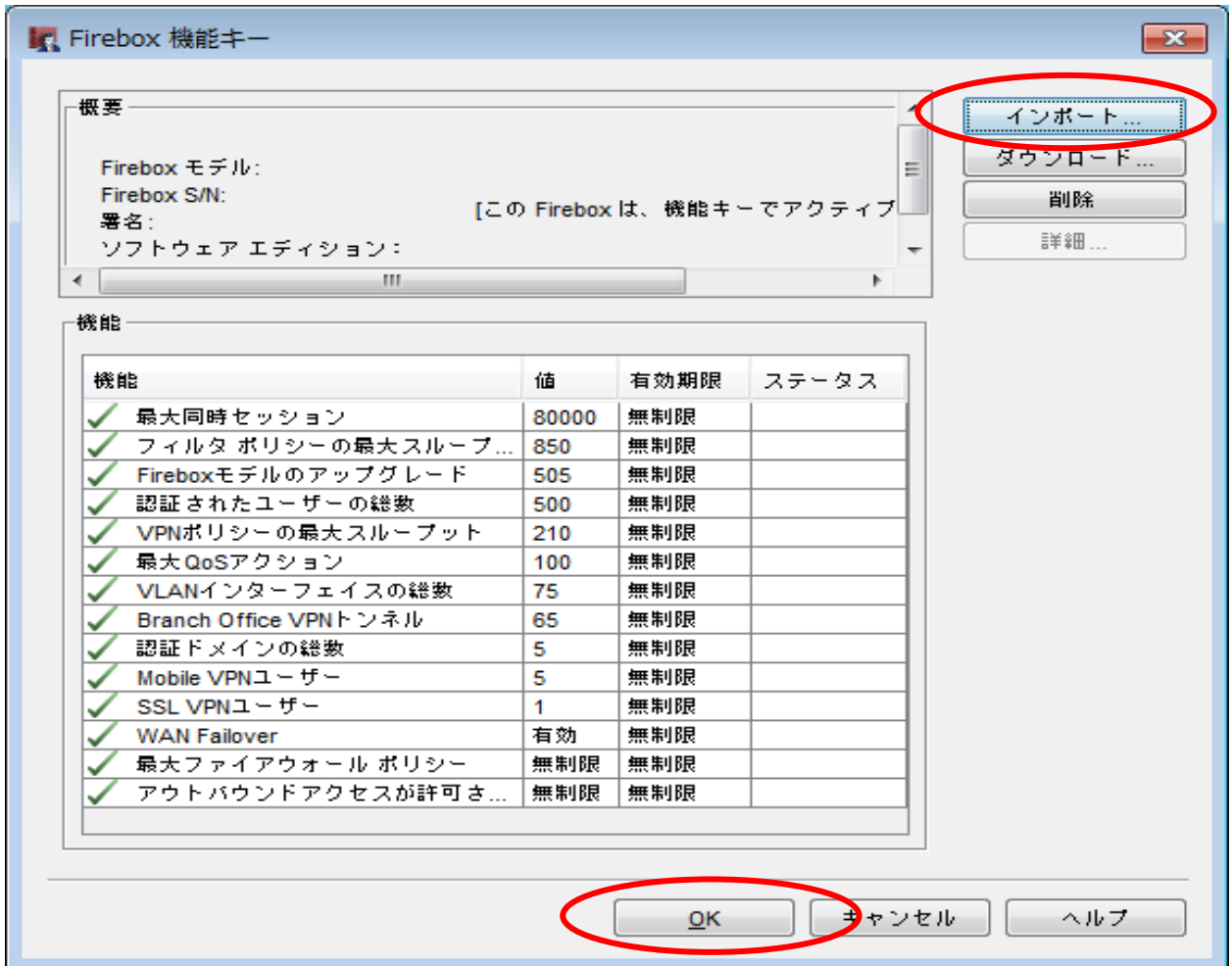
③ 接続できたら、Feature Keyを追加したいアプライアンスを選択し、Policy Managerを開きます。

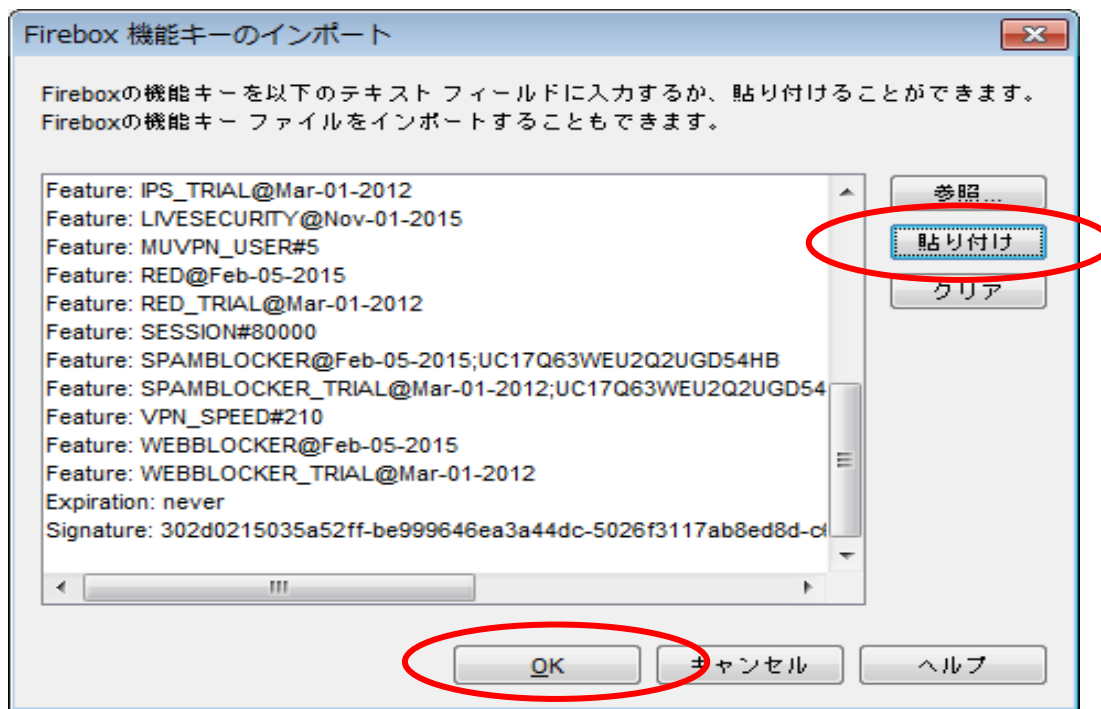


④ Policy Manager のメニュー「セットアップ」 > 「機能キー」を選択します。



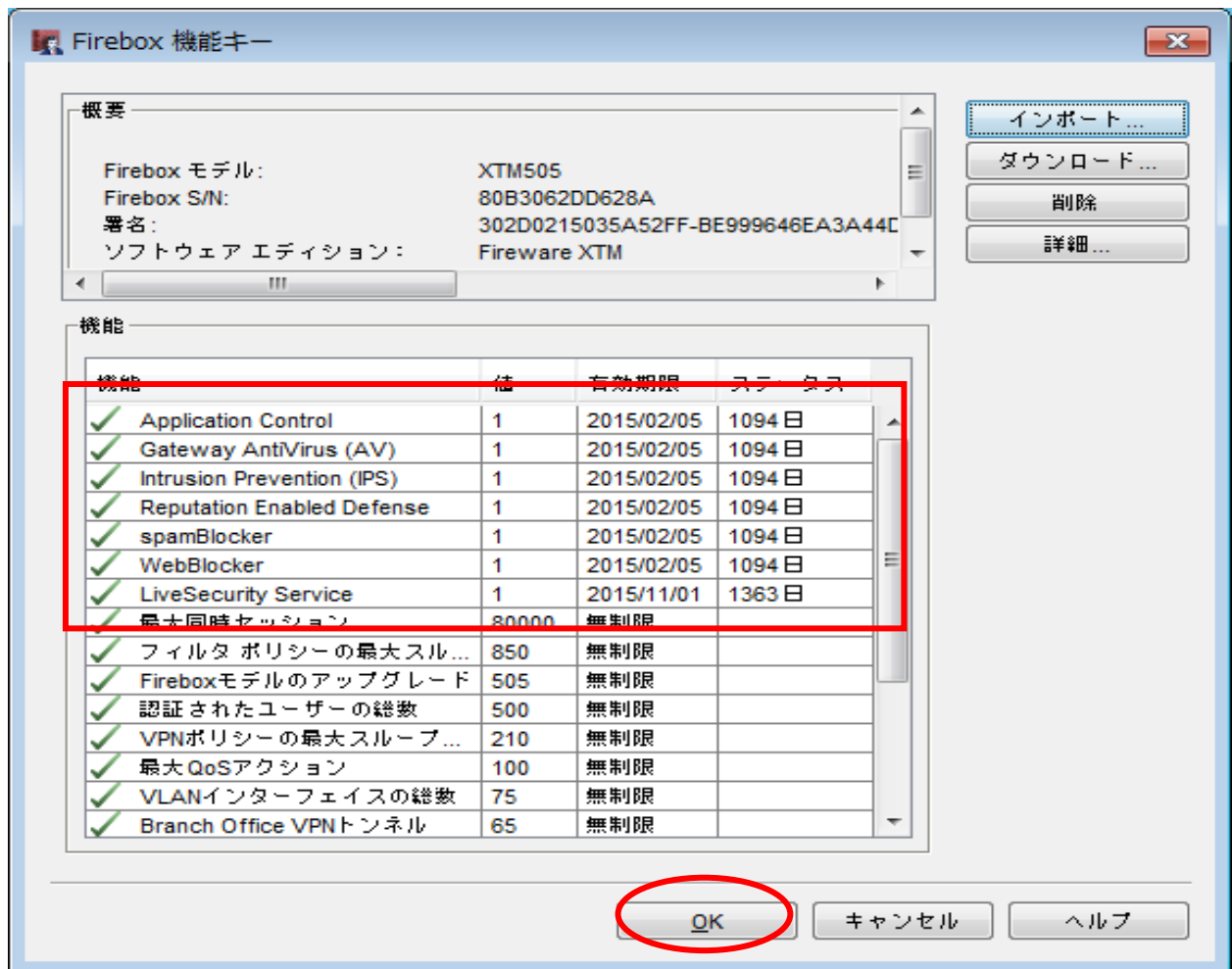
⑤ 「インポート」をクリックすると Firebox 機能キーのインポートの画面が開きますので STEP1-2 で取得した Feature Key を「貼り付け」、「OK」ボタンをクリックし、変更を保存して下さい。





2. Feature Key 適用の確認

- ① Fire box 機能キー画面にてそれぞれのライセンスの有効期限が更新されたことを確認し
OK ボタンをクリックして閉じます。

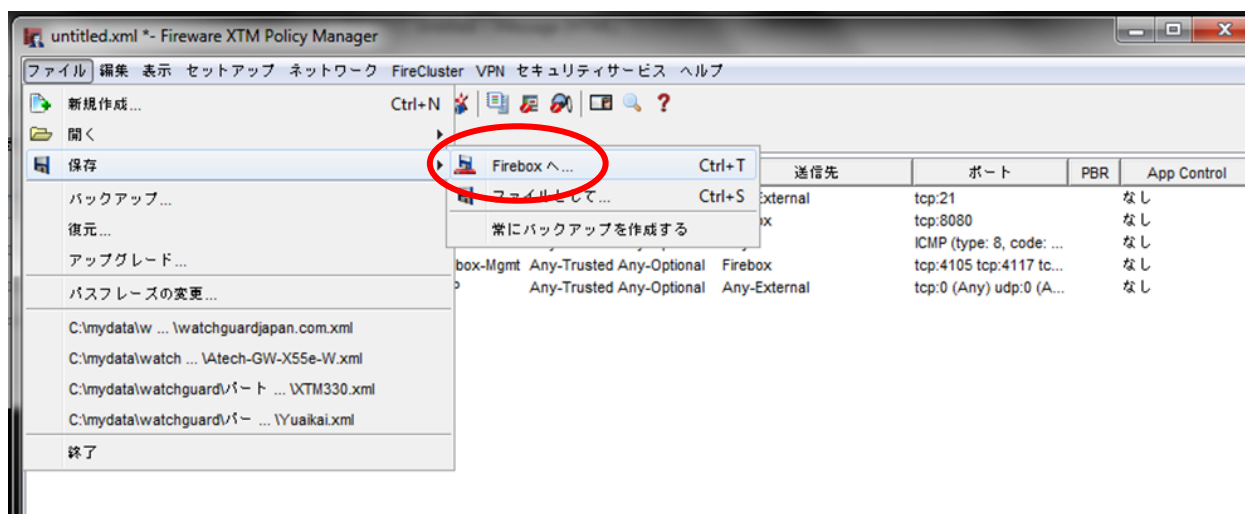


STEP3

1. デバイスへの保存処理をする

ライセンスをデバイスに登録するための保存処理を行います。

- ① 「Policy Manager」画面にて上段メニューより「ファイル」>「保存」>「Firebox へ」をクリックします。



- ② 「Firebox に保存する」画面が開きますので Firebox の IP アドレスおよびコンフィグレーションパスフレーズを入力し「OK」ボタンをクリックします。



- ③ 「構成が正しく保存されました。」と表示されますので「了解」ボタンをクリックします。

